

令和4年度 道徳教育基本方針

松伏町立金杉小学校

1 学校教育目標

- よく学ぶ子 <知> 【主体的に学ぶ力の育成・学力の向上】
- なかよく助け合う子 <徳> 【思いやりの心・協力し合う態度の育成】
- たくましく健康な子 <体> 【体力の向上・たくましい心の育成】

2 目指す児童像

「何事にも一生懸命取り組む心豊かな児童」

- ① 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けている児童
- ② 思いやりの心を持ち、協力して取り組む児童
- ③ 進んで運動に親しむ児童
- ④ 自立心をもつ児童

児童の実態を理解し、保護者、地域の願いを踏まえ、金杉小学校としてふさわしい児童像を示した。

3 学校経営方針と本年度の重点目標を踏まえて

学校の教育活動全体を通して児童の道徳性を養い、目指す児童像実現のための取組を推進する。

(1) 「目指す児童像」を目標とし、重点的に取り組む価値項目

- ① A「正直、誠実」
- ② B「親切、思いやり」
- ③ C「よりよい学校生活、集団生活の充実」
- ④ D「自然愛護」

上記の4つの項目とする。①～④項目の内1項目は、各学年が児童の実態を踏まえて、重点内容項目として位置づけ、発達の段階に応じた指導の充実を図る。

(2) 学校教育全体を通じた取組の推進（学校生活での体験を生かす）

作成した「別葉」を活用し、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等の学校教育活動の中で道徳性を育成するために、意図的に関連を図ることで、指導の機会、時期を明確にし、道徳的価値の補充・深化・統合を図る。

(3) 「考え、議論する道徳」の授業研究と実践

- ・ 主体的な取り組み→問題意識…教師の方向性に触発され、子供自らが問いをもって臨む。
- ・ 対話的な追及→問題の追求…人物への十分な共感を基盤としながらも、他者と価値や生き方について話し合う。
- ・ 深い学び→磨き合い…多様な感じ方・考え方を並べて終わらず、自己の納得を求める。

【価値項目 ABCD について】

①A 「正直、誠実」

低学年…うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。

中学年…過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。

高学年…誠実に、明るい心で生活すること。

②B 「親切、思いやり」

低学年…身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

中学年…相手のことを思いやり、進んで親切にすること。

高学年…誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。

③C 「よりよい学校生活、集団生活の充実」

低学年…先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。

中学年…先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。

高学年…先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。

④D 「自然愛護」

低学年…身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。

中学年…自然の素晴らしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。

高学年…自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。